

第92回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2023年6月8日(木) 19:35-20:28 ZOOM会議

2 参加者(以降、敬称略)

(地学) 市川、岩田、小林、根本、畠山、宮嶋、矢島

(地理) 井田、高橋、中山

(オブザーバー) 林、木村学

3 協議

(1) 今年度パブリックセッションの総括

コンビーナ団より JpGU2023 年大会パブリックセッション「あなたは自然災害から生き残れますか？学校での学びで！」についての下記のような概要報告があった。正式な報告は後日行われる。

【概要】

- ・現地で約 60 名、オンラインで約 90 名、延べ 150 名くらいが参加した。高校生は二十数名、大学生も 30 名以上の参加があり、当初の目的通りの望ましいパブリックセッションが行えた。
- ・その場でのオンラインアンケート調査で参加者の意見を確かめながらセッションを進められた。
- ・講師 3 人が講演を行った。村山良之氏は地形とハザードマップの関係、根本泰雄氏はハザードマップ作成時の想定を知る必要がある、および想定外の災害が起こること、林信太郎氏は火山のメカニズムや正常性バイアス、火山ハザードマップの想定外などの内容。なお、これらの内容は地理総合では十分ではない。
- ・「ハザードマップの想定外」を学ぶためには、「ハザードマップと地形の関係」がもっとも重要という意見が多かった。「ハザードマップの作り方」など講演者の内容が全体的に支持されていたことがわかる。

【反省点と今後の課題】

- ・高校生を主体とするパブリックセッションも成立しうることがわかった。次年度以降も、このテーマで継続してセッションを開催したい。
- ・参加者のセッション満足度は高かったが、発言の時間がなかったなどの意見もあり、セッション開催のコマ数、設定時間帯を含めて、検討が必要である。
- ・写真などの記録係、オンライン対応の係も 1, 2 人名いたらよかったかもしれない。

【今後】

- ・現コンビーナ団で近々総括を行う。夏休み中に次期コンビーナ団を結成し、今回の流れを汲んだ次回のセッションテーマを考え、9 月頃くらいに概要を出す。

(2) 「教科書用語問題に関する研究集会(案)」について

- ・地学基礎教科書の令和 8 年改訂、さらに次期学習指導要領での基礎的な高校地学分野における用語統一に向け、9 月末頃までに研究集会を行うことを承認した。

- ・内容は現行地学基礎の教科書における用語の不統一についての指摘と共に、用語統一を先行して実現した他科目の実践例（2017年に行ったパブリックセッションでは、地理・生物・化学）の紹介を行う。
- ・出来るだけ早くに実施日を決定し、夏休み前には講演者を決定する。日程の決定には、地学系の学会及び他科目と地理に関する学会と重ならないように検討する必要がある。

（3）防災教育小委員会の活動について

学習指導要領の防災関係の内容について改善案の検討を行う予定である。その際には教育課程小委員会とも連携して検討し、改善案を検討委員会に諮る。なお、7月中には防災教育小委員会の会合を開き、8～9月には案を教育課程小委員会に示す予定である。

4 次回小委員会

1か月後くらいをめどに開催する。それまでに研究集会の日程を決定し、講演者の人選について協議を行う。